

会社説明 2022年9月期



株式会社プレサンスコーポレーション

証券コード： **3254**（東証スタンダード市場）

- JPX日経インデックス400 構成銘柄
- JPX日経中小型株指数 構成銘柄

2022年11月

目次

I. 事業の特徴

会社プロフィール	p3
主要商品の特徴 ① ロケーション（立地）	p4
主要商品の特徴 ② スペック、平均販売価格	p5
販売方法と主要顧客	p6
事業エリア	p7
強みとその相乗効果	p8
当社の市場ポジション（2021年供給戸数ベース）	p9

補足説明資料

沿革	p20
商品の仕様	p21
ZEH-M（ゼッチ・マンション）への取組み	p22
新築分譲マンション供給実績	p23
エリア別売上戸数、平均売上価格の推移	p24
当社ワンルームマンションの入居率と賃貸管理戸数の推移	p25
前年同期間との比較 ① 連結損益計算書	p26
前年同期間との比較 ② 主要商品別の売上	p27

II. 業績および見通し

業績の推移	p11
連結損益計算書 要約	p12
主要商品別の売上実績	p13
連結貸借対照表 要約	p14
棚卸資産（取得済み用地）の状況 <'22年9月末時点>	p15
2023年9月期の業績予想の修正と中期経営計画の進捗状況	p16
主要商品の受注状況、2023年9月期売上計画達成見通し	p17
株主還元	p18

I. 事業の特徴

会社プロフィール

商	号	:	株式会社プレサンスコーポレーション
設	立	:	1997年10月
代	表	者	: 代表取締役社長 土井 豊
所	在	地	: 大阪府中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー27階
資	本	金	: 7,275百万円 (2022年9月30日現在)
従	業	員	数 : 単体 : 355名 (平均年齢 30.9歳、2022年9月30日現在) 連結 : 694名 (平均年齢 32.4歳、2022年9月30日現在)
事	業	内	容 : 都市型マンションの企画・開発から分譲販売、賃貸および建物管理まで、 一貫したサービスをグループで提供
決	算	月	: 9月
上	場	市	場 : 東証スタンダード市場 (証券コード 3254)
親	会	社	: 株式会社オープンハウス (東証プライム市場 証券コード3288) 2022年9月末現在、当社株式 議決権総数の64.07%を保有

主要商品の特徴 ① ロケーション（立地）

市場動向：都心回帰の人口動態トレンド

- ① 仕事・プライベートの両面から、生活の利便性に対するニーズが拡大
- ② 利便性の高いエリアでは、人口が増加

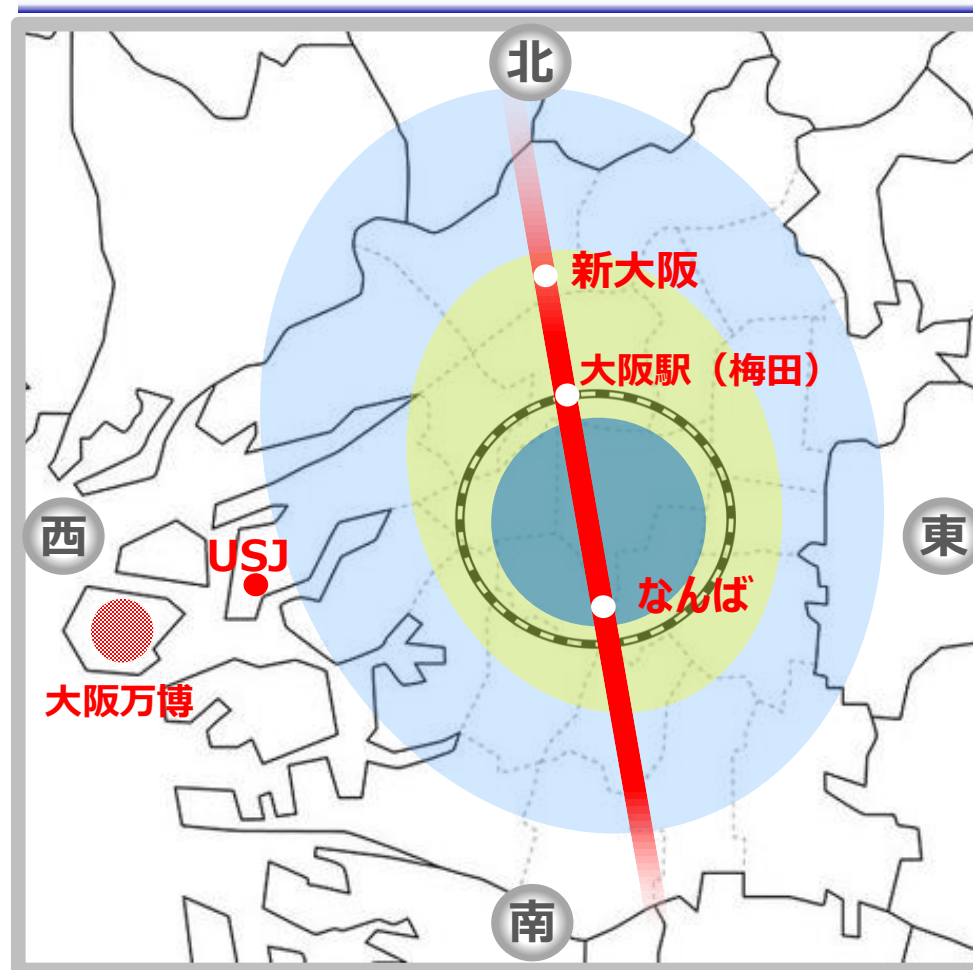
市場ニーズにマッチした
ロケーション

当社マンションの特徴＝『都市型』

- ① 人口が増加傾向にある大都市中心部（1R, F）
- ② 大都市近郊、主要な地方中核都市（主に、F）
- ③ 駅近（1R, F）

- ワンルームマンション中心のエリア
- ワンルームマンション、ファミリーマンションのエリア
- ファミリーマンション中心のエリア

例：大阪での主な供給エリア



大阪メトロ（地下鉄）御堂筋線

主要商品の特徴 ② スペック、平均販売価格

ワンルームマンション

混在

ファミリーマンション

商品
スペック

住戸専有面積	約20 ～ 50㎡	約50～100㎡
間取り	1 ROOM～1LDK	1 LDK ～ 4LDK
選定基準	利便性に富む立地 (大学・専門学校、企業、商業施設等に近接)	環境性に富む立地 (小・中学校区、企業、商業施設等に近接)
最寄駅からの距離	駅近 (徒歩 5 分圏内)	駅近 (徒歩 1 0 分圏内)
混在タイプ：ワンルームとファミリーの住戸が1棟内に併存、駅からの距離、選定基準はワンルームに近い		

平均
分譲
価格

'22年9月期	1,861万円	4,309万円
'21年9月期	1,846万円	3,970万円

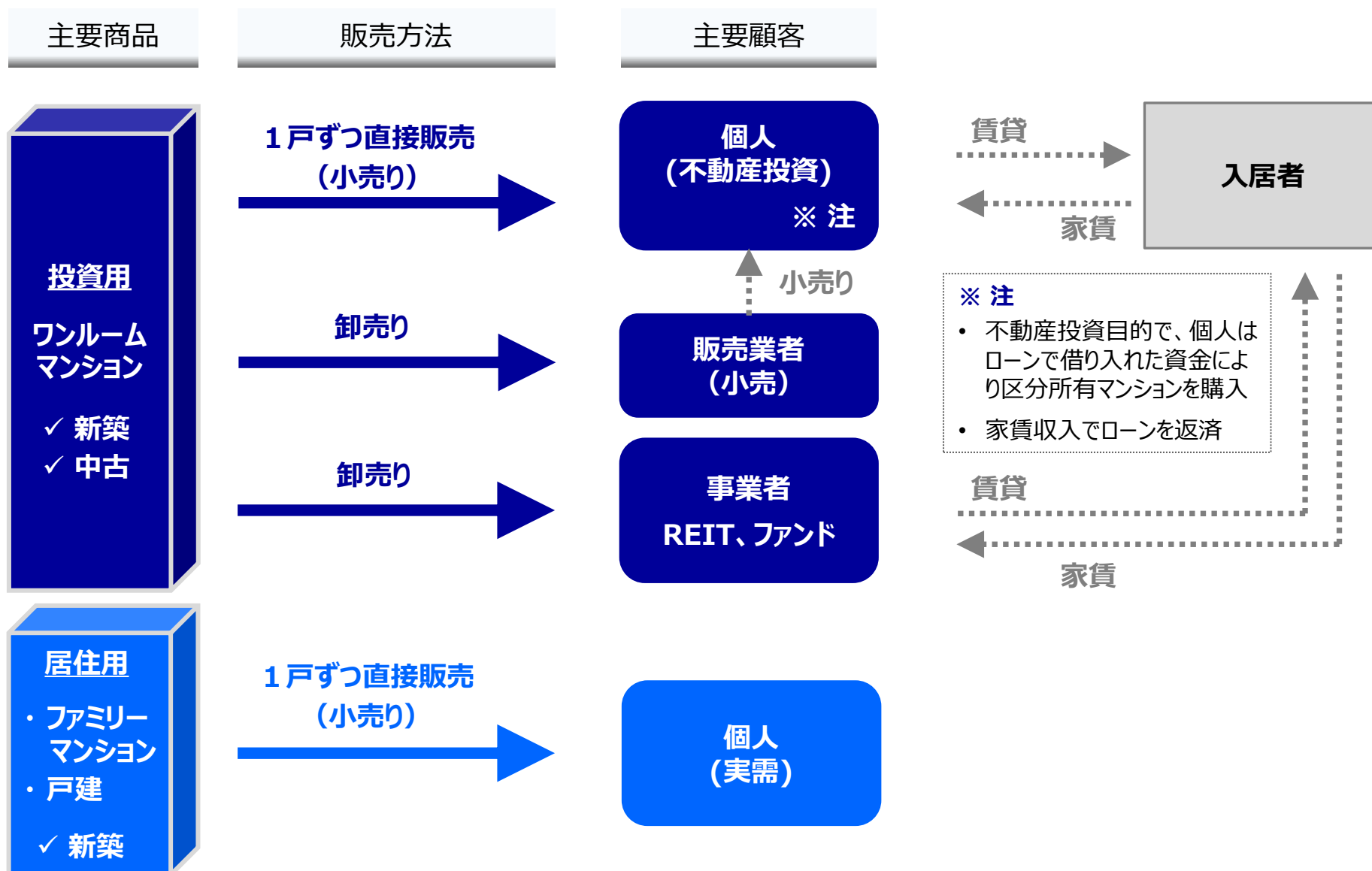
※

一般的な所得の方が、十分購入できる価格帯

価格動向 ※

ハイグレード・シリーズ『レジェンド』『グラン』の売上戸数の割合が増加したこと等により、平均価格が上昇
土地代・建築費の上昇傾向に対応し、価格転嫁しつつ戸当り面積の縮小等で価格訴求力を極力維持

販売方法と主要顧客

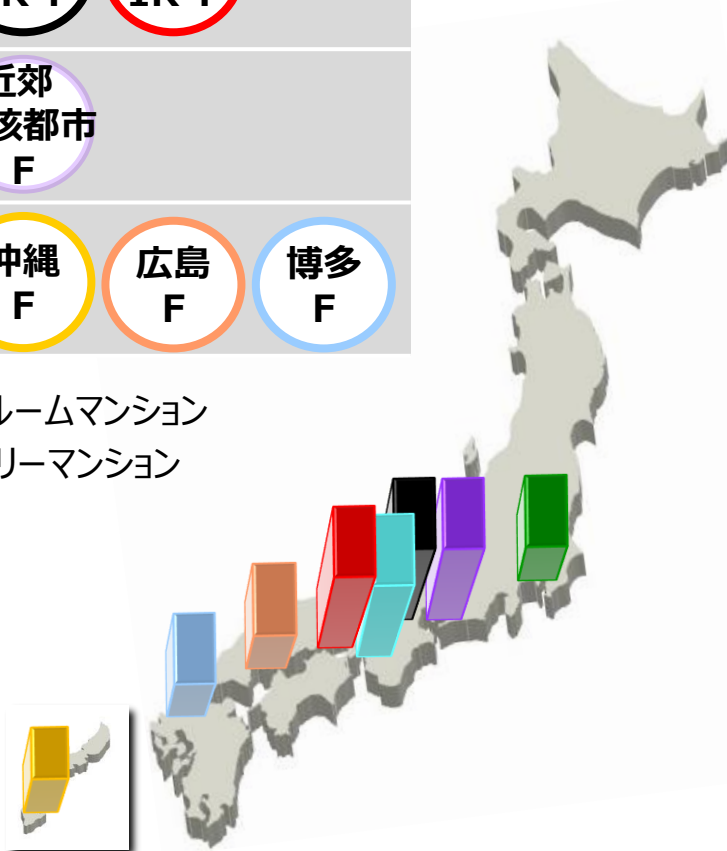


事業エリア

- 近畿圏、中京圏に堅固な事業基盤を確保

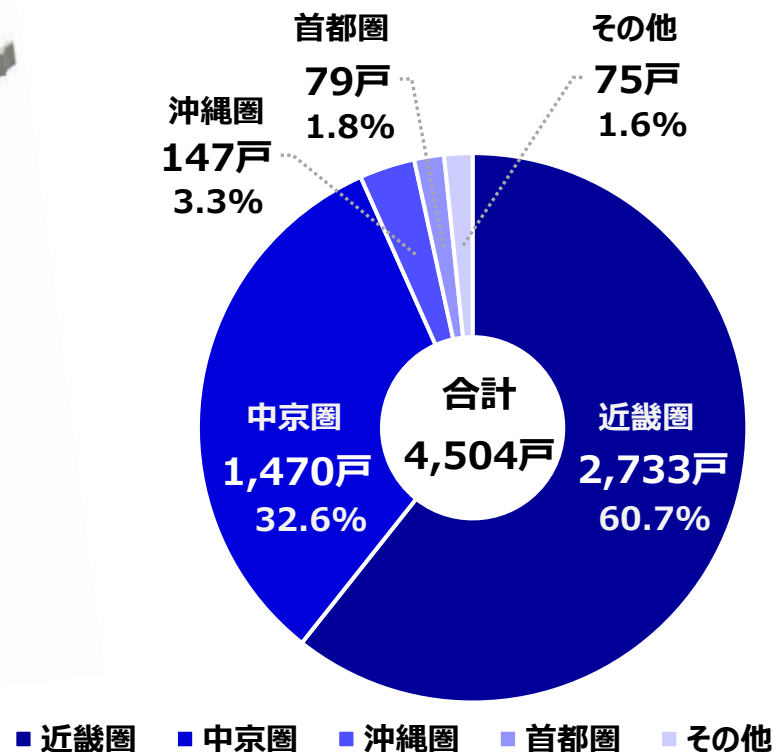
近畿圏	大阪 1R・F	京都 1R・F	神戸 1R・F	
中京圏	名古屋 1R・F	近郊 中核都市 F		
その他	東京 1R・F	沖縄 F	広島 F	博多 F

1R : ワンルームマンション
F : ファミリーマンション

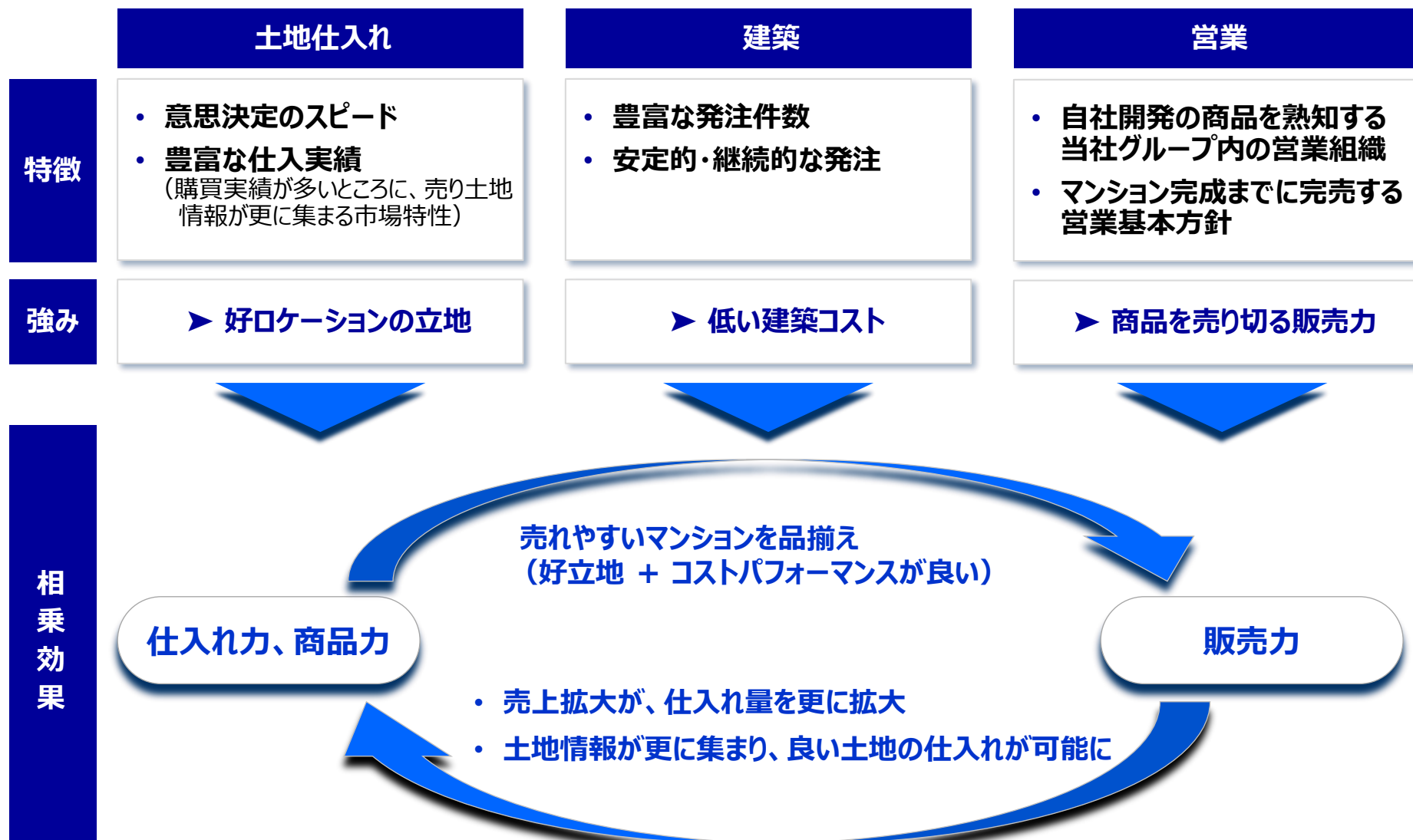


- その他エリアの中核都市でも事業を展開

エリア別の売上戸数
(’22年9月期実績)
(ワンルームマンション、ファミリーマンション)



強みとその相乗効果



当社の市場ポジション（2021年供給戸数ベース）

2021.1.1～2021.12.31におけるマンション供給（発売）実績 『(株)不動産経済研究所調べデータ』を基に当社が表を作成

エリア		近畿		東海・中京		全国	
当社のランキング		12年連続 1位		10年連続 1位		3位	
当社供給実績		2,453 戸		1,320 戸		3,950 戸	
エリア全体の供給実績		18,951 戸		7,481 戸		77,552 戸	
当社の市場シェア ※		12.9 %		17.6 %		5.1 %	
トップ5社と それぞれの 供給戸数	1位	プレサンス コーポレーション	2,453戸	プレサンス コーポレーション	1,320戸	野村不動産	4,014戸
	2位	関電不動産開発	1,145戸	エスリード	1,194戸	三井不動産 レジデンシャル	3,982戸
	3位	日商エステム	1,073戸	オープンハウス・ディ ベロップメント	655戸	プレサンス コーポレーション	3,950戸
	4位	エスリード	1,004戸	日商エステム	394戸	大和ハウス工業	3,634戸
	5位	住友不動産	825戸	野村不動産	355戸	三菱地所レジデンス	2,214戸

※ 『(株)不動産経済研究所2022年2月24日公表データ』を基に当社が算出

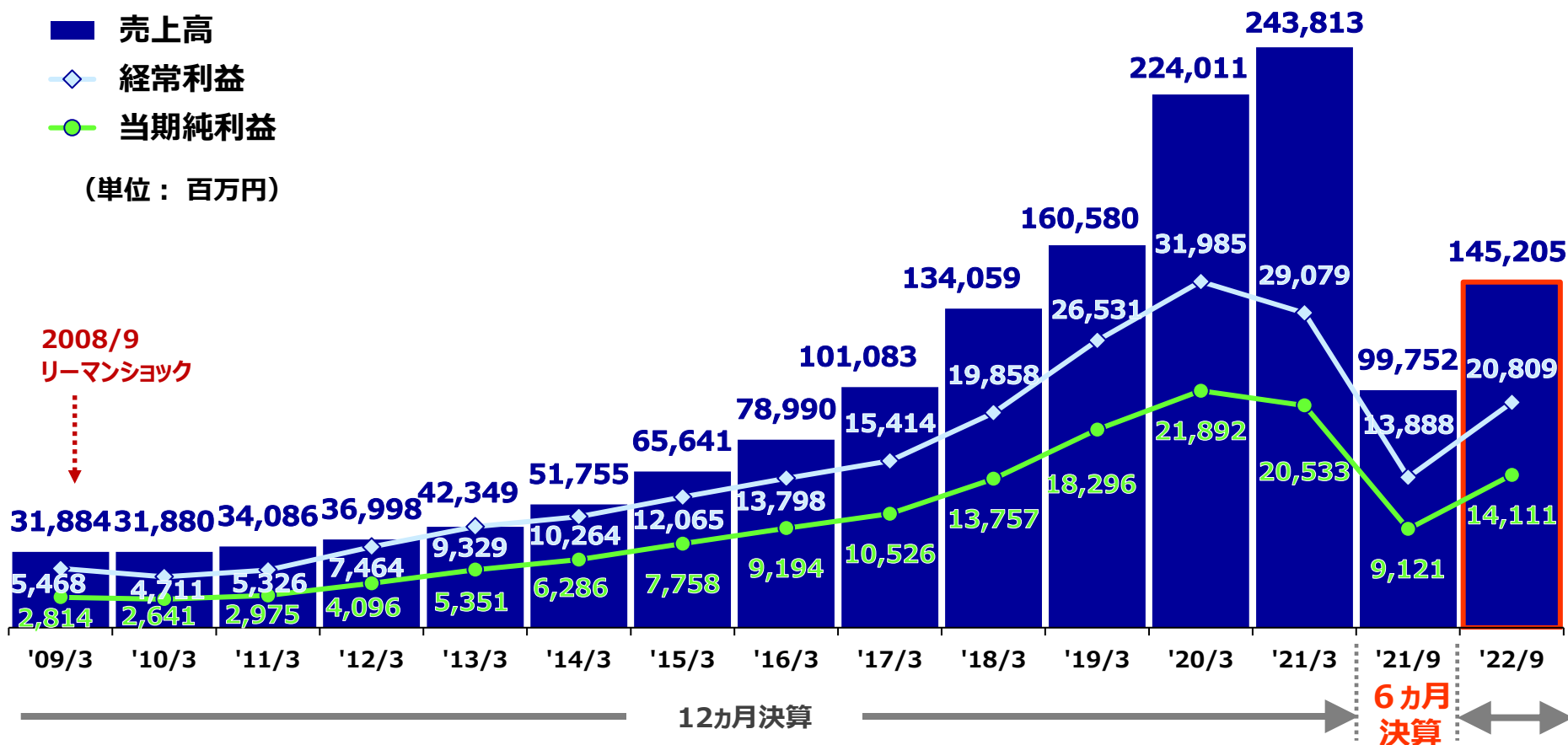
Ⅱ．業績および見通し

業績の推移

- リーマンショック以降、土地仕入れを継続的に強化し、11期連続で最高売上高を更新
- '21/3期に棚卸資産の評価損計上及び売却を行い、'21/3期の利益及び'21/9期の売上・利益が縮小
- '21/9期は決算期変更の移行期のため、6カ月の変則決算（事業年度の末日：3月31日⇒9月30日）

■ 売上高
◆ 経常利益
● 当期純利益

（単位：百万円）



連結損益計算書 要約

'21/9期は決算期変更の移行期のため、6カ月の変則決算

※ 2022年9月期と、前年および前々年同期間（10月～9月）との比較は、補足説明資料 p 26をご参照ください。

	'21年3月期（12ヵ月）		'21年9月期（6ヵ月）		'22年9月期（12ヵ月）				
	金額 （百万円）	構成比	金額 （百万円）	構成比	金額 （百万円）	構成比	修正計画 （百万円）	構成比	計画達成率 （%）
売上高	243,813	100.0%	99,752	100.0%	145,205	100.0%	142,500	100.0%	101.9%
売上原価	196,541	80.6%	77,069	77.3%	109,741	75.6%	108,500	76.1%	101.1%
売上総利益	47,271	19.4%	22,683	22.7%	35,464	24.4%	34,000	23.9%	104.3%
販管費	17,509	7.2%	8,457	8.5%	14,815	10.2%	16,000	11.2%	92.6%
営業利益	29,762	12.2%	14,225	14.3%	20,648	14.2%	18,000	12.6%	114.7%
経常利益	29,079	11.9%	13,888	13.9%	20,809	14.3%	17,800	12.5%	116.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,533	8.4%	9,121	9.1%	14,111	9.7%	11,700	8.2%	120.6%

対前年比：・売上総利益率が改善

計画比：・売上高、各段階利益および売上総利益率が、計画を上回って着地

・販管費の減少および抑制により、各段階利益の利益率（構成比）および計画達成率が上昇

主要商品別の売上実績

‘21/9期は決算期変更の移行期のため、6カ月の変則決算

※ 2022年9月期と、前年および前々年同期間（10月～9月）との比較は、補足説明資料 p 27をご参照ください。

	'21年3月期（12ヵ月）		'21年9月期（6ヵ月）		'22年9月期（12ヵ月）		
	戸数	(百万円)	戸数	(百万円)	戸数	(百万円)	修正計画 に対する達成率 (%)
ワンルームマンション	5,948	99,860	2,924	48,218	3,022	51,685	104.1%
ファミリーマンション	2,695	99,681	866	34,383	1,482	63,863	100.5%
戸建	99	3,372	75	2,535	199	8,024	98.8%
中古マンション	249	3,532	149	2,197	487	6,892	98.7%
合計	8,991	206,446	4,014	87,333	5,190	130,466	101.7%

計画比： 主要商品合計の売上計画 128,263百万円に対し、+2,203百万円（+1.7%）

- ・ワンルームマンション： 計画 49,637百万円に対し、主に売上戸数の増加により、+2,047百万円（+4.1%）
- ・ファミリーマンション： ほぼ計画通りに着地
- ・戸建： 計画 8,123百万円に対し、98百万円未達（▲1.2%）
- ・中古マンション： 計画 6,983百万円に対し、90百万円未達（▲1.3%）

連結貸借対照表 要約

	'21年3月末		'21年9月末		'22年9月末		
	実績（百万円）	構成比	実績（百万円）	構成比	実績（百万円）	構成比	増減（百万円）
流動資産	249,040	92.7%	237,376	92.7%	233,724	93.0%	▲3,651
内、現金及び預金	90,799	33.8%	103,138	40.3%	106,658	42.4%	3,520
内、販売用不動産	8,538	3.2%	23,491	9.2%	12,075	4.8%	▲11,415
内、仕掛販売用不動産	142,143	52.9%	102,347	40.0%	108,538	43.2%	6,190
固定資産	19,722	7.3%	18,648	7.3%	17,644	7.0%	▲1,003
資産合計	268,762	100.0%	256,024	100.0%	251,369	100.0%	▲4,655
流動負債	81,344	30.3%	54,131	21.1%	33,166	13.2%	▲20,965
内、短期有利子負債	56,980	21.2%	39,148	15.3%	18,675	7.4%	▲20,472
固定負債	47,284	17.6%	53,637	21.0%	57,435	22.8%	3,797
内、長期有利子負債	46,469	17.3%	52,798	20.6%	57,175	22.7%	4,376
負債合計	128,629	47.9%	107,768	42.1%	90,601	36.0%	▲17,167
純資産合計	140,132	52.1%	148,256	57.9%	160,768	64.0%	12,511
負債純資産合計	268,762	100.0%	256,024	100.0%	251,369	100.0%	▲4,655

主な増減要因：'21年9月末との比較

流動資産： 現預金+3,520百万円、販売用不動産▲11,415百万円、仕掛販売用不動産+6,190百万円、短期貸付金▲4,352百万円、未収消費税+1,983百万円

負債： 金融機関からの有利子負債計▲16,095百万円、電子記録債務+1,328百万円、未払法人税等▲2,360百万円

純資産： 当期純利益計上額14,111百万円

自己資本比率： 63.8%（2021年9月末から6.2ptアップ）

※ 赤枠内の棚卸資産の詳細については、次ページに記載

棚卸資産（取得済み用地）の状況 <'22年9月末時点>

棚卸資産 内訳

(百万円)

	主要商品の土地代金	その他土地代金	建築代金	計 (前ページ赤枠内数値)
販売用不動産	3,490	289	8,295	12,075
仕掛販売用不動産	82,797	857	24,882	108,538
計	86,288	1,147	33,178	120,614



主要商品別の棚卸資産・土地代金の内訳

金額：86,288百万円



戸数：13,334 戸

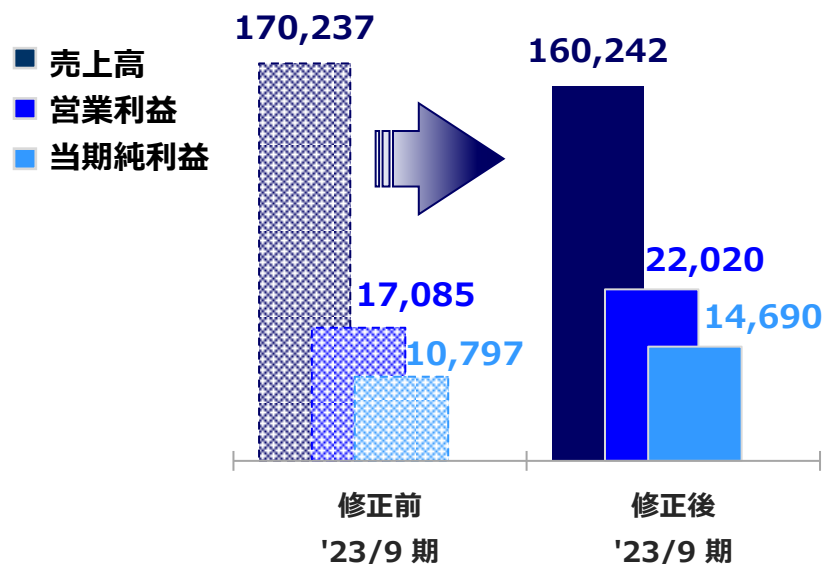


2023年9月期の業績予想の修正と中期経営計画の進捗状況

- '21年9月期、'22年9月期の実績は、計画を上回って着地
- '23年9月期の業績予想（2021年5月14日開示）を、2022年11月14日に修正
売上高 ▲9,995百万円(▲5.9%減)、営業利益 +4,935百万円(+28.9%増)、
当期純利益 +3,893百万円(+36.1%増)
- 売上は、12ヵ月ベースで、'22年9月期に底を打ち、'23年9月期に成長トレンドに転じる
- ワンルームマンションおよびファミリーマンションの売上拡大に加え、中古マンションと戸建住宅の売上も拡大

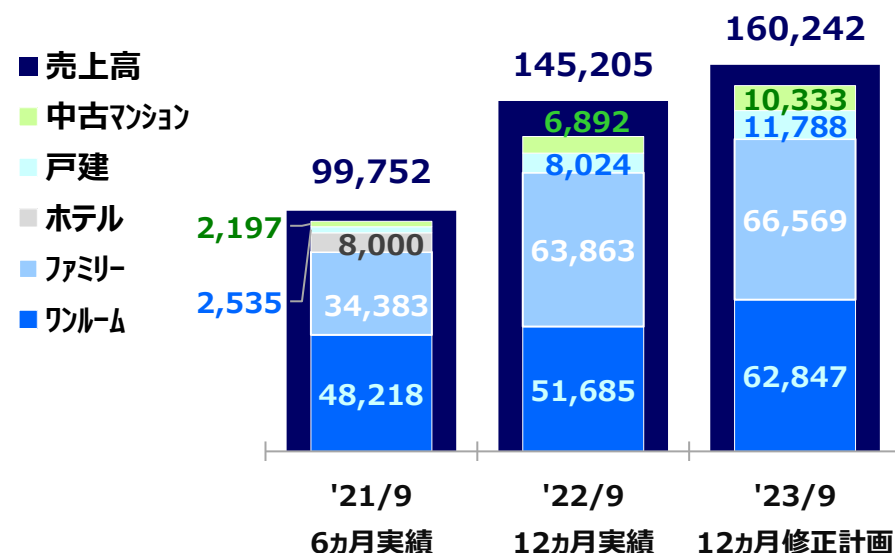
2023年9月期 業績見通しの修正

単位：百万円



主要商品別の売上高推移

単位：百万円



主要商品の受注（契約）状況、2023年9月期売上計画達成見通し '22年10月1日時点

'23年9月期スタート時に、当期に売上計上予定分の受注済み金額（水色部分）により、
主要商品の**通期売上計画151,803百万円の 53.2% を既に確保済み**（薄黄色部分）

'22年9月期末時点 受注残高

主要商品	受注残高合計	
	'22年9月期末時点	
	数量 (戸)	金額 (百万円)
ワンルームマンション	2,490	39,108
ファミリーマンション	1,213	48,605
戸建	25	1,255
中古マンション	77	1,182
その他不動産販売	2	351
合計	3,807	90,503

引渡し予定時期 内訳			
'23年9月期 A		'24年9月期以降 B	
数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)
2,050	33,169	440	5,939
1,126	44,959	87	3,645
25	1,255	0	0
77	1,182	0	0
0	265	2	86
3,278	80,831	529	9,672

注：受注残高＝以下の状態にある物件の契約売買金額の合計

- ・主に建築中で、引渡し前
- ・売買契約の締結は完了
- ・購入者への物件の引渡しが無完了

通常、竣工後に物件を顧客に引き渡し、受注高を売上高に振替計上

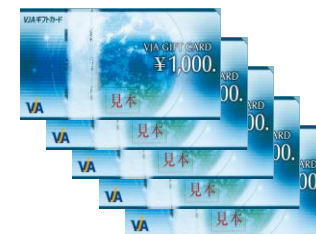
'23年9月期 売上計画に対する進捗状況

	受注残高のうち、 '23年9月期に 売上計上予定		'23年9月期の売上計画 に対する売上確保率	
	数量 (戸)	金額 A (百万円)	金額 B (百万円)	売上確保率 A/B
ワンルームマンション	2,050	33,169	62,847	52.8%
ファミリーマンション	1,126	44,959	66,569	67.5%
戸建	25	1,255	11,788	10.7%
中古マンション	77	1,182	10,333	11.4%
その他不動産販売	0	265	265	100.0%
合計	3,278	80,831	151,803	53.2%

株主還元

‘22年9月期：期末配当の支払いおよび優待品の発送は、2022年12月下旬の予定

1株当たり 配当額 (基準日)	中間配当 (‘22年3月末)	期末配当 (‘22年9月末)	年間合計	配当性向
	16円	19円	35円	17.0%
株主優待 1期につき1回 (基準日)	贈呈対象となる保有株式数 (‘22年9月末)	贈呈品 ‘22年12月下旬から順次発送予定		
	400株以上	VJAギフトカード 5,000円分 (1,000円×5枚)		



‘23年9月期 予想

1株当たり 配当額 (基準日)	中間配当 (‘23年3月末)	期末配当 (‘23年9月末)	年間合計	配当性向
	19円	19円	38円	17.8%
株主優待 1期につき1回 (基準日)	贈呈対象となる保有株式数 (‘23年9月末)	贈呈品 ‘23年12月下旬から順次発送予定		
	400株以上	VJAギフトカード 5,000円分 (1,000円×5枚)		



補足説明資料

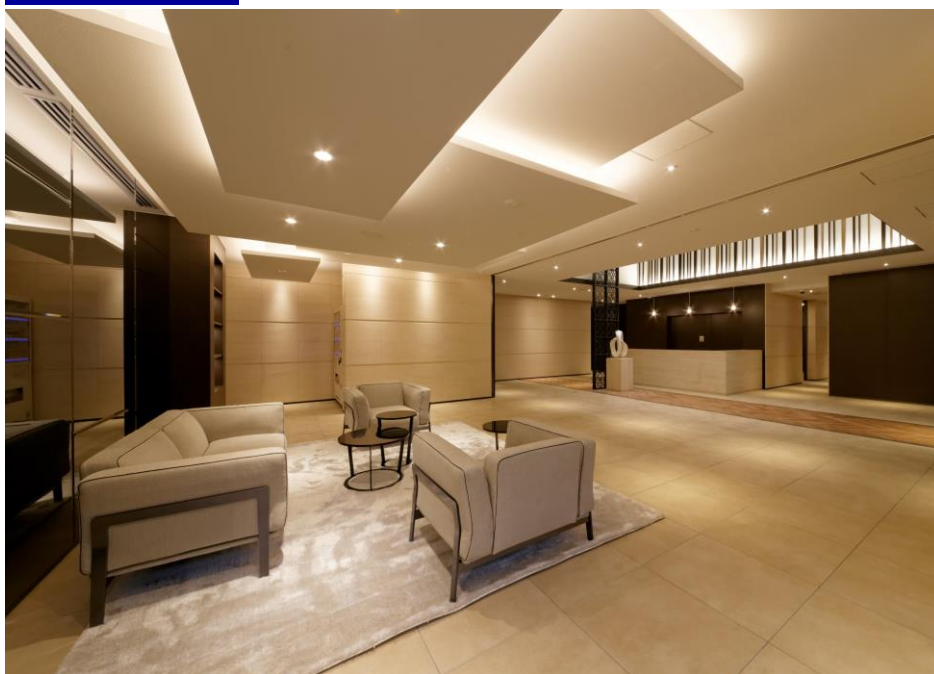
沿革

1997年	10月	(株)日経プレステージを設立
1997年	10月	宅地建物取引業免許（大阪府知事（1）第45679号）を取得
1998年	11月	自社ブランド第1棟「プレサンス難波東」を販売
1998年	12月	建物管理業務、保険代理業務を行う(株)プレサンスコミュニティを設立（現、(株)パシフィック）
1999年	6月	ファミリーマンションの販売を行う(株)日経アシストを設立（現、(株)プレサンス住販）
1999年	6月	不動産賃貸管理業を開始
2000年	7月	初の自社開発物件「プレサンス心斎橋EAST」を販売
2002年	4月	(株)プレサンスコーポレーションに商号変更
2003年	5月	東海エリアで初めての自社開発物件「プレサンス名古屋城前」を販売
2005年	2月	名古屋販売センターを開設
2005年	7月	名古屋販売センターを名古屋支店に昇格
2007年	12月	東京証券取引所市場第2部に上場
2008年	8月	中古物件売買、仲介事業を行う(株)ルームプロ（現、(株)プレサンスリアルタ）を設立
2008年	12月	東京支店を開設
2013年	10月	東京証券取引所市場第1部に上場
2014年	4月	建設事業を行う(株)トライストへの出資と株式取得により子会社化
2014年	8月	家賃債務保証業務を行う(株)プレサンスギャランティを設立
2017年	1月	貸借銘柄に選定
2020年	5月	株式会社オープンハウスと資本業務提携を締結、同社の持分法適用関連会社に
2021年	1月	TOBおよび第三者割当増資により、株式会社オープンハウスの連結子会社に
2021年	6月	決算期（事業年度の末日）を3月31日から9月30日に変更
2021年	8月	JPX 日経インデックス 400 及び JPX 日経中小型株指数の構成銘柄に選定
2022年	4月	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、スタンダード市場に区分変更

商品の仕様

高付加価値：高級感・安全性・快適性・機能性を重視した鉄筋コンクリート造の分譲マンション

高級感



安全性

- TVカメラ付きオートロックシステム
- 防犯性能の高いドア・キー

快適性

- IoT照明器具（ワンルーム）
- 防音サッシ（T-2）
- 遮音フローリング（LL45）
- 高遮音性界壁（TDL56）
- ガス温水床暖房（主にファミリー）

機能性

- 浴室換気乾燥機付ユニットバス
- オートライトセンサー

長期にわたる高い資産価値・ブランド価値

ZEH-M（ゼッチ・マンション）への取り組み

社会的関心の高まり及び顧客ニーズの拡大に応え、環境に配慮した省エネマンション（ZEH-M）の開発をスタート

■ 開発中案件の概要： ZEH-M Oriented（ゼッチ・エム・オリエンティッド）タイプ 2022年9月30日時点

マンション・タイプ	案件数	戸数	所在地
投資用ワンルームマンション	3	219戸	京都市、名古屋市、大阪市
ファミリーマンション	2	130戸	大阪府門真市、名古屋市

■ ZEH-M Orientedの評価基準（6階建て以上の集合住宅が対象）

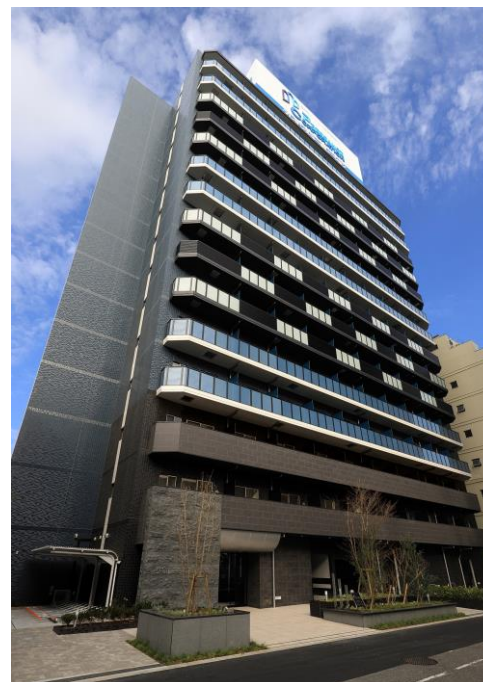
住棟での評価				住戸での評価		
外皮断熱性能 ※ 全住戸で以下を達成	省エネ率 ※ 共用部を含む住棟全体で以下を達成		目指すべき水準	外皮断熱性能 ※ 当該住戸で以下を達成	省エネ率 ※ 当該住戸で以下を達成	
	再エネ除く	再エネ含む			再エネ除く	再エネ含む
強化外皮基準（ZEH基準）	20%以上	再エネ不要	6階建て以上	強化外皮基準（ZEH基準）	20%以上	再エネ不要

（出所：『集合住宅におけるZEHの設計ガイドライン』、集合住宅における ZEH ロードマップフォローアップ委員会）

新築分譲マンション供給実績

大阪府	444 棟	30,620 戸
愛知県	252 棟	17,193 戸
兵庫県	85 棟	6,330 戸
京都府	98 棟	5,310 戸
滋賀県	14 棟	1,715 戸
沖縄県	27 棟	1,460 戸
東京都	24 棟	1,443 戸
広島県	6 棟	465 戸
福岡県	4 棟	217 戸
その他	29 棟	2,123 戸
合計	983 棟	66,876 戸

(注) 棟数、戸数は1998年11月から2022年9月30日迄の累計供給実績



プレサンス難波クチュール
(大阪市/ワンルームマンション)



プレサンスレジエンド
堺筋本町タワー
(大阪市/ファミリーマンション)



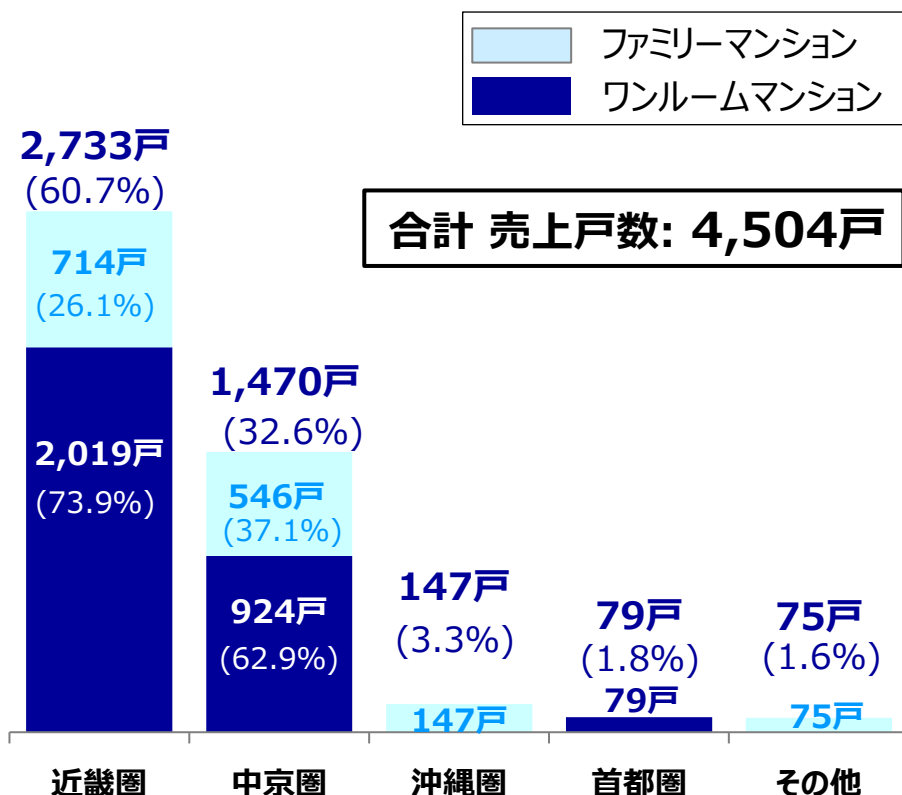
プレサンスロジェ
神戸ポートアイランド
(神戸市/ファミリーマンション)



プレサンスグラン泉
(名古屋市/ファミリーマンション)

エリア別売上戸数、平均売上価格の推移

エリア別売上戸数（'22年9月期 実績）



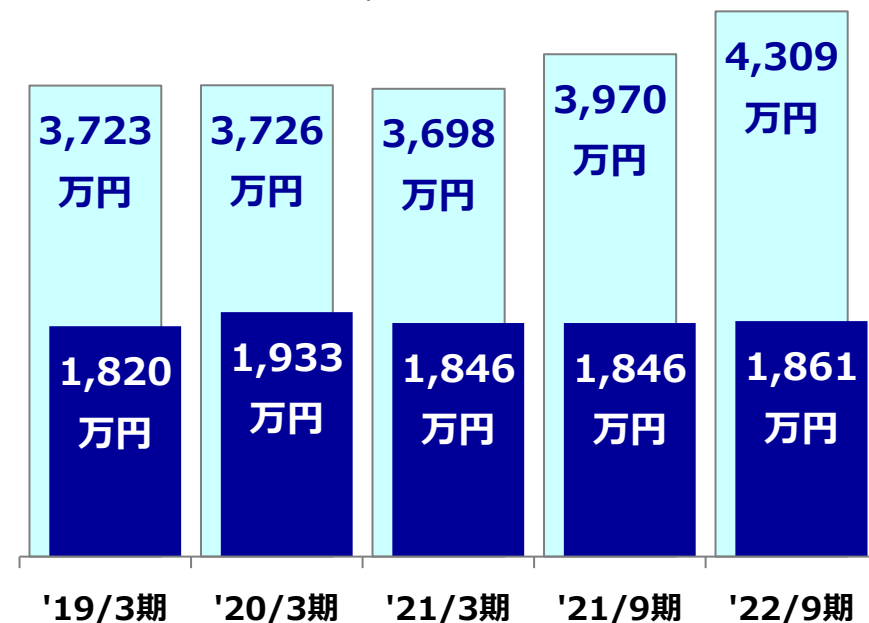
- 近畿、中京圏に注力して活動

平均売上価格（実績推移）



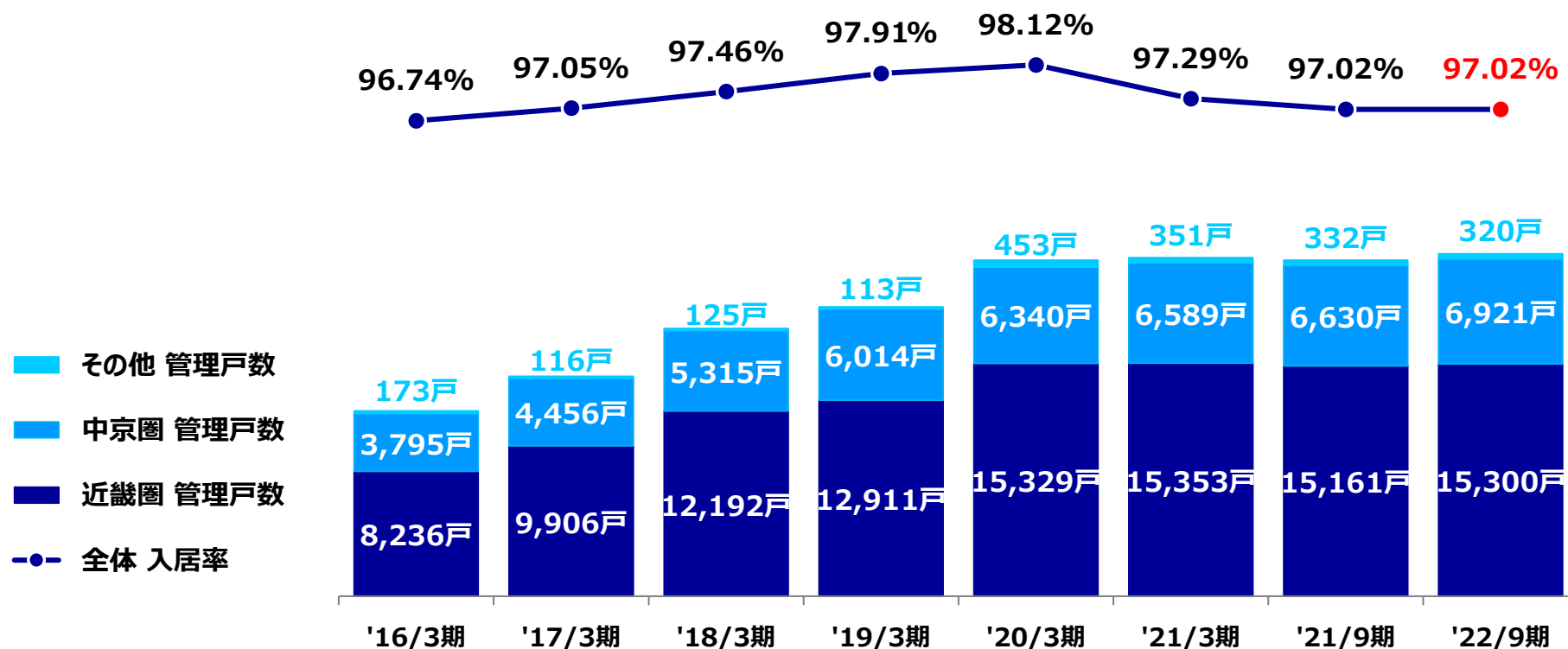
※ データ対象：各期に引渡して売上計上した物件

※ 金額は全て消費税抜き価格



- スケールメリットにより価格を抑えて供給
- 主要顧客は一般的な収入の世帯

当社ワンルームマンションの入居率と賃貸管理戸数の推移



- 当社の分譲マンションの入居率は、高い水準を継続
 ∴『大都市中心部＋駅近』の立地、高品質な設備・仕様、賃料の競争力
 ⇒ 投資リターン（＝毎月の家賃収入）を、ほぼ途切れずに期待できる＝販売が好調な要因
- 2022年9月末時点、当社が賃貸管理する物件全体の入居率は **97.02%**
- コロナ感染症拡大の影響により、法人契約等が減少し、入居率が低下するものの高水準を維持

連結損益計算書 要約

売上・利益ともに、前年同期間比で減少したが、修正した計画を達成

※ 前年同期間比は、今4Q累計実績を前年の同期間10月～9月実績と比較 ∴ 前期に決算期を変更したため

前年同期間実績は、2021.3期4Q累計実績から同2Q累計実績を引いた額（10/1～3/31）と、2021.9期実績（4/1～9/30）の合計

	前々年同期間 実績 ※ '19.10.1～'20.9.30		前年同期間 実績 ※ '20.10.1～'21.9.30		'22/9期 4Q 実績 '21.10.1～'22.9.30			'22/9期 修正 計画 '21.10.1～'22.9.30		修正計画 に対する 達成率 A/B
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 A (百万円)	構成比	※ 前年 同期間比	金額 B (百万円)	構成比	
売上高	234,039	100.0%	208,155	100.0%	145,205	100.0%	69.8%	142,500	100.0%	101.9%
売上原価	187,724	80.2%	165,843	79.7%	109,741	75.6%	66.2%	108,500	76.1%	101.1%
売上総利益	46,314	19.8%	42,311	20.3%	35,464	24.4%	83.8%	34,000	23.9%	104.3%
販管費	19,060	8.1%	16,637	8.0%	14,815	10.2%	89.1%	16,000	11.2%	92.6%
営業利益	27,254	11.6%	25,674	12.3%	20,648	14.2%	80.4%	18,000	12.6%	114.7%
経常利益	27,003	11.5%	24,553	11.8%	20,809	14.3%	84.8%	17,800	12.5%	116.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,001	8.1%	16,885	8.1%	14,111	9.7%	83.6%	11,700	8.2%	120.6%

前年

同期間比：

- ・ 売上高： 今期は新築マンションの竣工数が減少
ホテル売上は前年の4案件（合計142億円）で全案件が終了。今期以降の売上は無し
- ・ 売上総利益率： 4.1ptアップ ∴ 商品構成の違い、
今期の評価損計上額は、前々年および前年同期間から大幅に減少
- ・ 販管費： 諸費用サービスの計上基準変更に伴う販売費の減少、人員増等による人件費の増加

計画比：

- ・ 利益は計画を上回って着地 ∴ 売上戸数の増加と粗利率の改善

主要商品の売上実績

主要商品	前々年同期間 実績 ※ '19.10.1~'20.9.30				前年同期間 実績 ※ '20.10.1~'21.9.30				'22年9月期 4Q 実績 '21.10.1~'22.9.30				'22年9月期 修正 計画 '21.10.1~22.9.30	
	数量		金額		数量		金額		数量		金額		金額	
	戸数	前年 同期間比 (%)	(百万円)	前期 同期間比 (%)	戸数	前年 同期間比 (%)	(百万円)	前年 同期間比 (%)	戸数	前年 同期間比 (%)	(百万円) A	前年 同期間比 (%)	(百万円) B	達成率 A/B
ワンルーム マンション	4,912	149.8%	88,961	149.7%	6,138	125.0%	100,244	112.7%	3,022	49.2%	51,685	51.6%	49,637	104.1%
ファミリー マンション	2,463	214.9%	88,902	215.7%	1,805	73.3%	70,984	79.8%	1,482	82.1%	63,863	90.0%	63,518	100.5%
戸建	68	144.7%	2,310	145.3%	144	211.8%	4,834	209.2%	199	138.2%	8,024	166.0%	8,123	98.8%
中古 マンション	186	115.5%	2,725	116.3%	321	172.6%	4,676	171.6%	487	151.7%	6,892	147.4%	6,983	98.7%
合計	7,629	164.6%	182,898	174.9%	8,408	110.2%	180,740	98.8%	5,190	61.7%	130,466	72.2%	128,263	101.7%

※ 前年同期間実績は、2021.3期 4 Q累計実績から同 2 Q累計実績を引いた額（10/1~3/31）と、2021.9期実績（4/1~9/30）の合計

前期同期間比: 竣工・引渡し物件数の減少に伴い、特にワンルームマンションの売上が大幅に減少

・ ワンルームマンション: 戸数▲3,116戸、売上▲48,559百万円 ・ ファミリーマンション: 戸数▲323戸、売上▲7,121百万円
 ・ 戸建: 戸数+55戸、売上+3,190百万円 ・ 中古マンション: 戸数+166戸、売上+2,215百万円

計画比: 概ね、修正した今期業績予想（2022年5月13日 開示）の通りに着地

ワンルームマンションの売上は計画を若干上回り、戸建および中古マンション売上は計画を僅かに下回った



株式会社プレサンスコーポレーション

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

＜お問合せ先＞

株式会社プレサンスコーポレーション 管理本部 IR室

TEL : 06-4793-1650(代) FAX : 06-4793-1651

E-mail : psc@pressance.co.jp